

第49期 年次報告書

2020年9月1日～2021年8月31日

株主優待制度に関するお知らせ

より多くの株主様に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として、右記表の区分により、当社グループ店舗にてお使いいただけるお食事券を年1回贈呈いたします。



年1回
御食事券
贈呈!

優待品内容

割当基準日の保有株式数にて優待内容が決まります。

	割当基準日	8月31日
所有株式数	100株以上500株未満	2,000円御食事券（500円券× 4枚）
	500株以上1,000株未満	10,000円御食事券（500円券×20枚）
	1,000株以上	20,000円御食事券（500円券×40枚）

割当条件

100株以上を継続保有していることを割当条件とさせていただきます。
詳細はホームページ「会社情報・IR新着情報」をご確認ください。

株主メモ

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月
基準日	定時株主総会関係 毎年8月31日 期末配当金受領株主確定関係 毎年8月31日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし事故その他のやむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載する。 公告掲載URL https://www.saizeriya.co.jp/
株主優待制度	あり

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 配当金の口座振込のご指定につきましても、配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きについて、詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

最新の店舗情報は弊社のホームページをご参照ください

サイゼリヤ



<https://www.saizeriya.co.jp/>

UD
FONT



株式会社 サイゼリヤ

〒342-0008 埼玉県吉川市旭2番地5



我々が目指す姿

La Buona Tavola!

(ラ・ブォーナ・ターボォラ)

…楽しい食卓

お客様、働く人すべてが
楽しく幸せになる店を目指します。

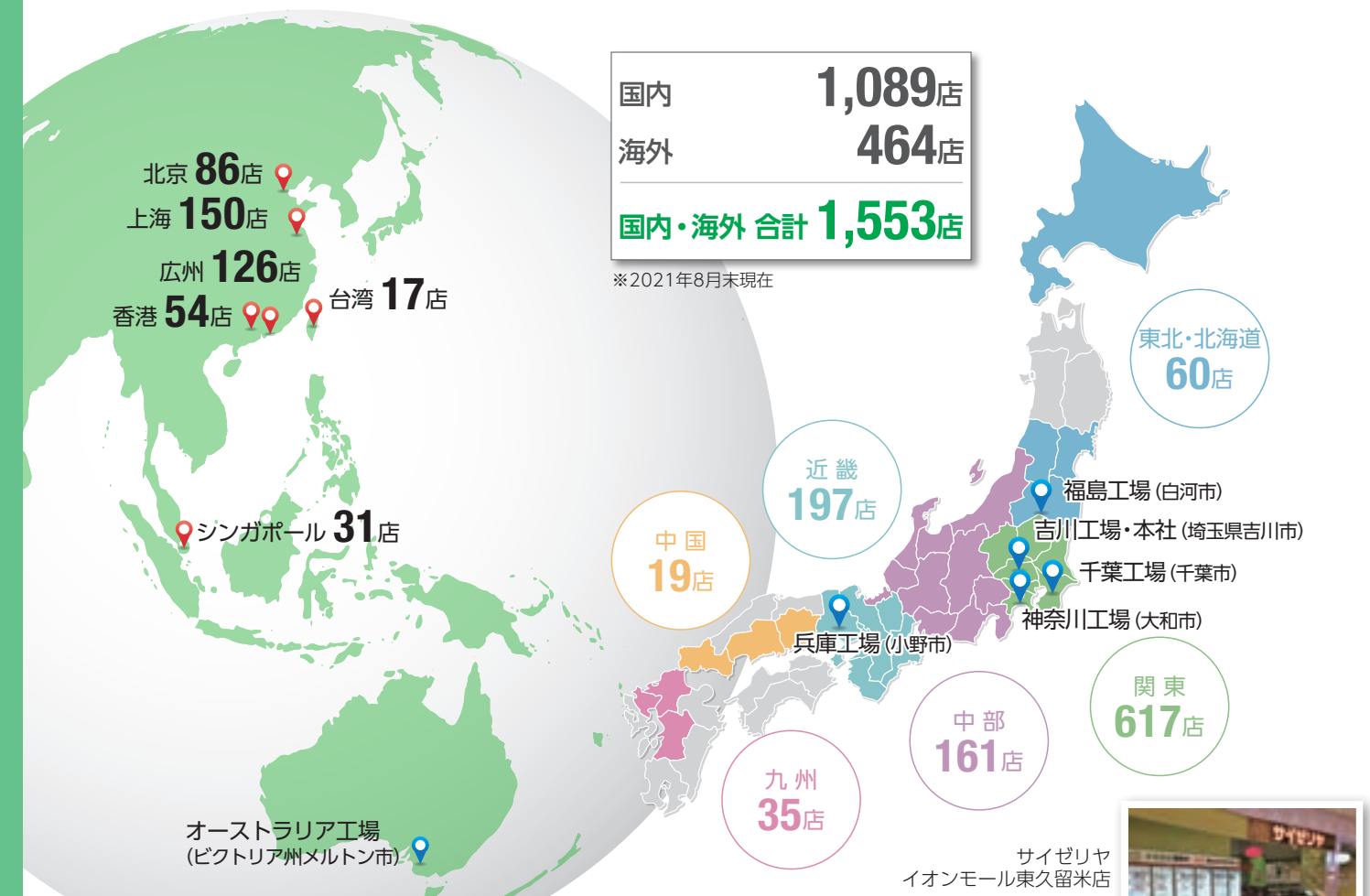
経営理念

基本理念

○ 人のため ○ 正しく ○ 仲良く



国内・海外に広がる店舗ネットワーク



新店舗続々オープン！

2021/ 9/ 9 【大阪府】 サイゼリヤイオンモール茨木
2021/ 9/ 9 【千葉県】 サイゼリヤセブンパークアリオ柏
2021/ 9/16 【兵庫県】 サイゼリヤイオンモール伊丹昆陽
2021/ 9/27 【東京都】 ミラノ食堂 Mariano 高田馬場
2021/10/ 7 【東京都】 サイゼリヤイオンモール東久留米

2021/10/13 【東京都】 サイゼリヤ練馬谷原四丁目
2021/10/20 【兵庫県】 サイゼリヤゆめタウン姫路
2021/10/28 【東京都】 サイゼリヤ田無駅南口
2021/11/17 【大阪府】 サイゼリヤセブンパーク天美
2021/11/17 【京都府】 サイゼリヤイオンモール京都五条



●表紙の写真：カリノ菊陽店（熊本県）



代表取締役社長
堀 埜 一 成
Issei Horino

代表取締役会長
正 垣 泰 彦
Yasuhiko Shougaki

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染者数の減少や政府の景気刺激策などにより、徐々に売上高は回復の兆しがみられたものの、緊急事態宣言の再発出による外出自粛や、酒類の提供自粛及び営業時間短縮再要請などの影響により、依然として厳しい状況が続いております。また、テイクアウトやデリバリーの利用が急増するなど、外食業界をとりまく環境が大きく変化しております。

その中で当社は、新型コロナウイルス感染症対策を最優先課題とし、お客様が安心・安全に御食事頂ける店舗環境作りに取り組んでまいりました。深夜営業を無くすことで従業員の安全を確保し、開店と閉店の作業時間を短縮することで店舗運営の効率化に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は、1,265億13百万円（前期比0.3%減）、営業損失は22億64百万円（前期は38億15百万円の営業損失）、経常利益は34億55百万円（前期は20億91百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は17億65百万円（前期は34億50百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

今期は、今後の発展とさらなる飛躍を目指し、ハード・ソフト両面での革新を推しすすめてまいります。

主な取組みとして、当社ならではの魅力的な商品の開発と、技術の改善による品質及び生産性の向上に注力してまいります。また、店舗・工場・農場での廃棄ロス対策、省エネ・環境対策など、SDGsの達成につながる取組みを重視した経営に努めてまいります。

サポーターの力を活かし食堂業の産業化へ

代表取締役社長 **堀埜 一成**

● 国内レストラン事業

ムダの削減による利益体質の強化

国内レストラン事業では、コロナ禍での自粛等により消費行動の変化がみられました。

まずは、カスタマーロイヤリティの向上による来店度の向上を図るべく、正社員の増員及び接客等の従業員の教育を更に進めてまいります。また、店舗での食材販売等を行い、収益性を向上してまいります。同時に、損益分岐点を下げるために引き続き徹底的なムダの削減、固定的費用の削減を行ってまいります。

商品施策は定番商品のブラッシュアップや日本では知られていない本場イタリアの料理を導入し、TPOSを増やし対象客数を広げる商品を提供してまいります。

● 国内新事業

新しい生活様式に沿った販売チャネルの拡大

国内新事業は既存のクイックパスタ業態のマリアーノの進化したブランド「ミラノ食堂mariano」を展開いたします。新たな市場開拓として「サクッと食べられる軽い夕食」がコンセプトのサパーを提案してまいります。同時に引き続き新型コロナウイルスによる行動変容によって大きく成長しつつある市場であるテイクアウトやデリバリー、食材販売など、新たな販売形態のテストを積極的に実施、拡大をしてまいります。また、小型店舗開発や立地創造を引き続き行い、新たな出店立地の可能性を広げてまいります。

● 海外事業

変化に迅速に対応できる組織による収益性の強化

海外事業は全体的には好調ですが、カンントリーリスクや為替等、地域ごとに状況が異なるため、情報収集や分析能力、ガバナンスの強化により、変化に的確かつスピーディーに対応できる組織づくりをより一層強化してまいります。

商品施策は現地の適正価格を見つつ、クオリティとコストパフォーマンスの高い自社工場製品を使用することで他社との差別化を推しすすめてまいります。

自社オーストラリア工場の生産量を上げ、生産効率を向上させることでグループ全体の収益性の向上につなげてまいります。

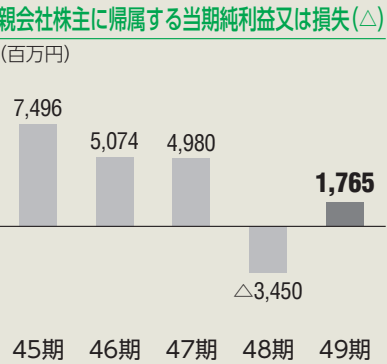
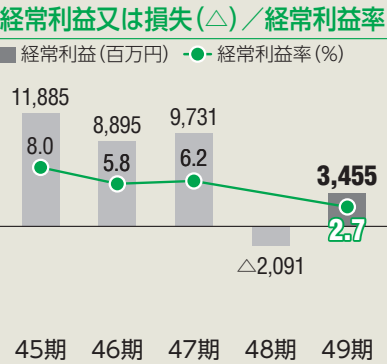
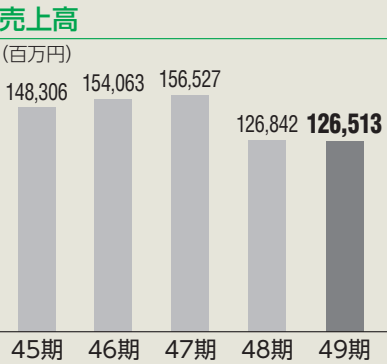
● 組織

変化を活かしてチャレンジし成長できる組織

少子高齢化や働き方の多様性への対応として、マネジャー社員の専門職制度や、地域限定社員の採用、準社員の契約の多様化などを行ってまいりました。

そして、従業員同士の有機的なコミュニケーションの促進のため、ハード・ソフト面での開発を行ってまいります。今後はジョブ型人事制度の導入等、社会の変化を活かし、成長を続ける人に。そしてなかまのチカラを活かし、成長し続ける会社を目指してまいります。

	第45期 (2017年8月期)	第46期 (2018年8月期)	第47期 (2019年8月期)	第48期 (2020年8月期)	第49期 (2021年8月期)
売上高 (百万円)	148,306	154,063	156,527	126,842	126,513
営業利益又は損失(△) (百万円)	11,216	8,640	9,599	△3,815	△2,264
経常利益又は損失(△) (百万円)	11,885	8,895	9,731	△2,091	3,455
親会社株主に帰属する 当期純利益又は損失(△) (百万円)	7,496	5,074	4,980	△3,450	1,765
総資産 (百万円)	102,731	104,896	108,970	120,068	138,045
純資産 (百万円)	80,412	83,396	85,177	80,355	83,569
自己資本比率 (%)	78.1	79.1	77.6	66.4	60.1
1株当たり当期純利益 又は損失(△) (円)	151.48	102.69	101.48	△70.84	36.31
1株当たり配当金 (円)	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00



セグメント別概況

日本	新型コロナウイルス感染者数の減少や政府の景気刺激策などにより、売上高は回復傾向にありましたが、ソーシャルディスタンス確保のために客席数を減少させた影響などにより、売上高は861億81百万円（前期比9.6％減）、営業損失72億10百万円（前期は56億23百万円の営業損失）となりました。
豪州	当社で使用する食材の製造等を行っており、売上高は48億46百万円（前期比21.6％増）、営業利益は6億28百万円（前期比3,004.4％増）となりました。
アジア	香港における新型コロナウイルス感染症再拡大の影響があったものの、中国経済はコロナ禍から急回復をしており、売上高は402億10百万円（前期比28.0％増）、営業利益は44億25百万円（前期比152.1％増）となりました。

次期の見通し

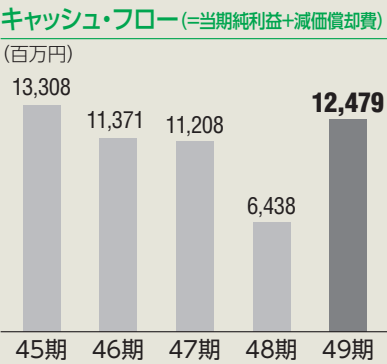
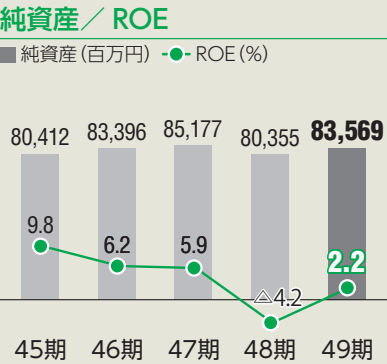
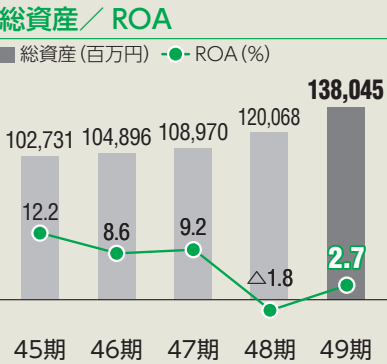
	第49期 実績 (2021年8月期)	第50期 予想 (2022年8月期)
売上高 (百万円)	126,513	150,000
営業利益又は損失(△) (百万円)	△2,264	7,000
経常利益 (百万円)	3,455	13,000
親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円)	1,765	8,600

外食業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な中で消費マインドは回復しておらず、引き続き厳しい状況が続いていくものと考えております。また、コロナ禍を通して生活様式や消費行動が変化しております。今後デジタル化の加速により経営環境は大きく変化していくと想定されます。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、アフターコロナを見据えた出店戦略、販売戦略を推進してまいります。また、利益体質強化のため、店舗や工場での食材ロスの削減、店舗や工場の設備改善による作業の生産性を向上してまいります。

また、2021年5月からの協力金合計65億円を次期の営業外収益に見込んでおります。

以上のことから、当社の連結会計年度の業績予想は、売上高1,500億円、営業利益70億円、経常利益130億円、親会社株主に帰属する当期純利益86億円を見込んでおります。



連結貸借対照表

科 目	第48期 (2020年8月期)	第49期 (2021年8月期)
資産の部		
流動資産	56,841	70,042
現金及び預金	42,320	55,332
売掛金	—	550
テナント未収入金	1,046	940
商品及び製品	6,194	7,550
原材料及び貯蔵品	1,229	1,368
その他	6,049	4,299
固定資産	63,226	68,002
有形固定資産	46,689	50,953
建物及び構築物（純額）	24,169	25,952
機械装置及び運搬具（純額）	1,482	1,516
工具、器具及び備品（純額）	4,019	4,169
土地	6,932	6,938
リース資産（純額）	75	66
使用権資産（純額）	9,767	11,341
建設仮勘定	242	968
無形固定資産	465	412
投資その他の資産	16,071	16,637
投資有価証券	259	259
敷金及び保証金	10,173	10,337
建設協力金	188	111
繰延税金資産	5,220	5,744
その他	243	196
貸倒引当金	△ 13	△ 12
資産合計	120,068	138,045

科 目	第48期 (2020年8月期)	第49期 (2021年8月期)
負債の部		
流動負債	25,539	25,445
買掛金	4,279	4,125
短期借入金	10,000	10,000
リース債務	4,014	4,338
未払法人税等	293	746
賞与引当金	773	771
株主優待引当金	172	207
資産除去債務	115	268
その他	5,891	4,988
固定負債	14,172	29,030
長期借入金	—	12,500
株式給付引当金	816	984
リース債務	6,206	8,093
繰延税金負債	4	4
資産除去債務	6,984	7,299
その他	160	148
負債合計	39,712	54,475
純資産の部		
株主資本	78,994	80,342
資本金	8,612	8,612
資本剰余金	10,697	10,801
利益剰余金	67,464	68,343
自己株式	△ 7,779	△ 7,414
その他の包括利益累計額	687	2,570
為替換算調整勘定	687	2,570
新株予約権	673	656
純資産合計	80,355	83,569
負債・純資産合計	120,068	138,045

連結損益計算書（要旨）

科 目	第48期 (2019年9月1日から 2020年8月31日まで)	第49期 (2020年9月1日から 2021年8月31日まで)
売上高	126,842	126,513
売上原価	47,397	46,360
売上総利益	79,445	80,152
販売費及び一般管理費	83,260	82,417
営業損失（△）	△ 3,815	△ 2,264
営業外収益	2,094	6,403
営業外費用	369	683
経常利益又は損失（△）	△ 2,091	3,455
特別利益	106	108
特別損失	2,546	970
税金等調整前当期純利益又は損失（△）	△ 4,530	2,593
法人税、住民税及び事業税	717	1,325
法人税等調整額	△ 1,797	△ 498
法人税等合計	△ 1,080	827
当期純利益又は損失（△）	△ 3,450	1,765
親会社株主に帰属する当期純利益又は損失（△）	△ 3,450	1,765

連結株主資本等変動計算書

第49期（2020年9月1日から2021年8月31日まで）

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額		新 株 予 約 権	純資産 合 計
	資 本 金	資 剰 余 金	利 剰 余 金	自己株式	株 主 資 本 合 計	為 替 換 算 調 整 勘 定	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
2020年9月1日残高	8,612	10,697	67,464	△ 7,779	78,994	687	687	673	80,355
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 886		△ 886				△ 886
親会社株主に帰属する当期純利益			1,765		1,765				1,765
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
自己株式の処分		104		365	469				469
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						1,883	1,883	△ 16	1,866
連結会計年度中の変動額合計	—	104	879	364	1,348	1,883	1,883	△ 16	3,214
2021年8月31日残高	8,612	10,801	68,343	△ 7,414	80,342	2,570	2,570	656	83,569

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

科 目	第48期 (2019年9月1日から 2020年8月31日まで)	第49期 (2020年9月1日から 2021年8月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	525	12,187
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 5,917	△ 11,048
財務活動による キャッシュ・フロー	4,244	7,428
現金及び現金同等物に係る 換算差額	278	1,842
現金及び現金同等物の増減額 （△は減少）	△ 869	10,410
現金及び現金同等物の期首残高	43,189	42,320
現金及び現金同等物の期末残高	42,320	52,730



サイゼリヤの新提案 “Anytimeサパー”

「好きな時に好きなおいしさを、好きなスタイルで」をコンセプトに、ササッと食事をしたいというお客様のニーズに、手軽に食べられる新しい食事のスタイル“Anytimeサパー”を提案しました。人気のサラダもスプーンでお召し上がりいただける食べやすいチョップドスタイルに生まれ変わりました。



快適で安心安全な店舗づくり



イタリア人デザイナーによる斬新かつ洗練されたデザインの店舗改装を進めております。また、全店でキャッシュレス決済やwi-fiが利用可能になりました。テイクアウトやデリバリーの導入も進みますます快適に、更に安心安全にご利用いただけるようになりました。



新ブランド「ミラノ食堂 mariano」 OPEN



クイック販売形式の「ミラノ食堂 mariano」がオープンしました。レストラン同様サパー提案やテイクアウトやデリバリーなども積極的に行い、より便利に利用できる業態を作っていきます。現在日本橋茅場町と高田馬場に展開しております。

会社概要 (2021年8月31日現在)

会社概要

商 号	株式会社サイゼリヤ
代 表 者	代表取締役会長 正垣 泰彦 代表取締役社長 堀埜 一成
本 社	〒342-0008 埼玉県吉川市旭2番地5
設 立	1973年5月1日
資 本 金	86億1,250万円
従 業 員 数	正社員 4,134名(連結)
店舗数合計	1,553店舗 (国内1,089店舗、海外464店舗)

株式の状況

発行可能株式総数	73,208,000株
発行済株式の総数	52,272,342株
株 主 数	55,568名

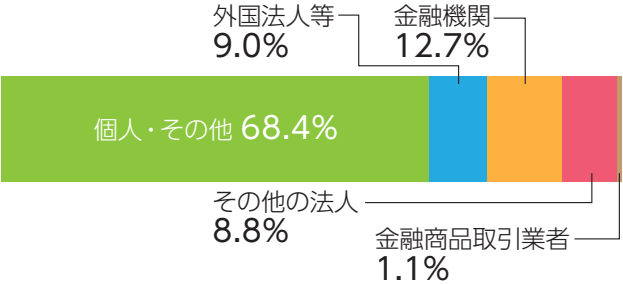
大株主

株主名	所有株式(株)	出資比率(%)
正垣 泰彦	15,248,892	30.85
株式会社バベット	4,355,516	8.81
サイゼリヤ従業員持株会	1,788,843	3.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,740,500	3.52
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,509,000	3.05
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	670,000	1.36
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	468,600	0.95
株式会社日本カストディ銀行(信託口6)	416,100	0.84
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	363,000	0.73
株式会社日本カストディ銀行(信託口1)	355,300	0.72

役員 (2021年11月25日現在)

代表取締役会長	正垣 泰彦
代表取締役社長	堀埜 一成
取締役	長岡 伸
社外取締役	荒川 隆
取締役常勤監査等委員	中嶋 靖雄
社外取締役監査等委員	渡辺 晋
社外取締役監査等委員	松田 道春

所有者別株式数分布状況



所有者別株主数分布状況

